

活用事例

- 橋長 : 355.9m、幅員 : 11.3m
- 橋梁形式 : 8径間連続合成鋼桁橋
- 対象部位・部材 : P18橋脚起点面
- 性能カタログ(又はNETIS)番号
: BR010054-V00124
- ☆ [性能カタログへのリンク](#)

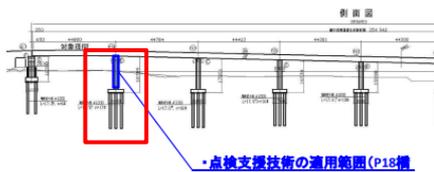
橋梁・支援技術



位置図及び側面図



側面図



点検対象範囲

○点検支援技術の効果

- ・ドローンで撮影した画像からでも条件が合えば、ひびわれ検出が可能。
- ・従来技術と比べて、ひびわれのAIによる検出ができるため、ひびわれを計測する手間が省ける。
- ・規制などの作業がなくなり、点検員の安全性が向上する。
- ・損傷の位置及び状態の把握が可能である。

○近接目視と同等と判断した理由

- ・橋梁点検車と同じ範囲、アングルの写真撮影が可能。【ドローン】
- ・近接目視同様に0.1mmのひびわれ検出が可能。【ひび検】

○使用時の留意事項

- ・植生などの障害物が多い場合事前に把握しておく必要がある。
- ・一定離隔など撮影条件が満たせる場所の選定が必要である。

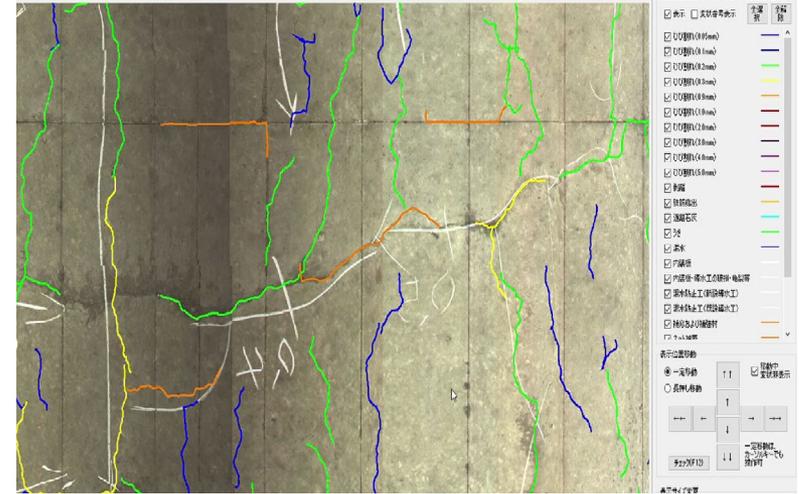


写真-1 現地写真

写真-2 検出システム例



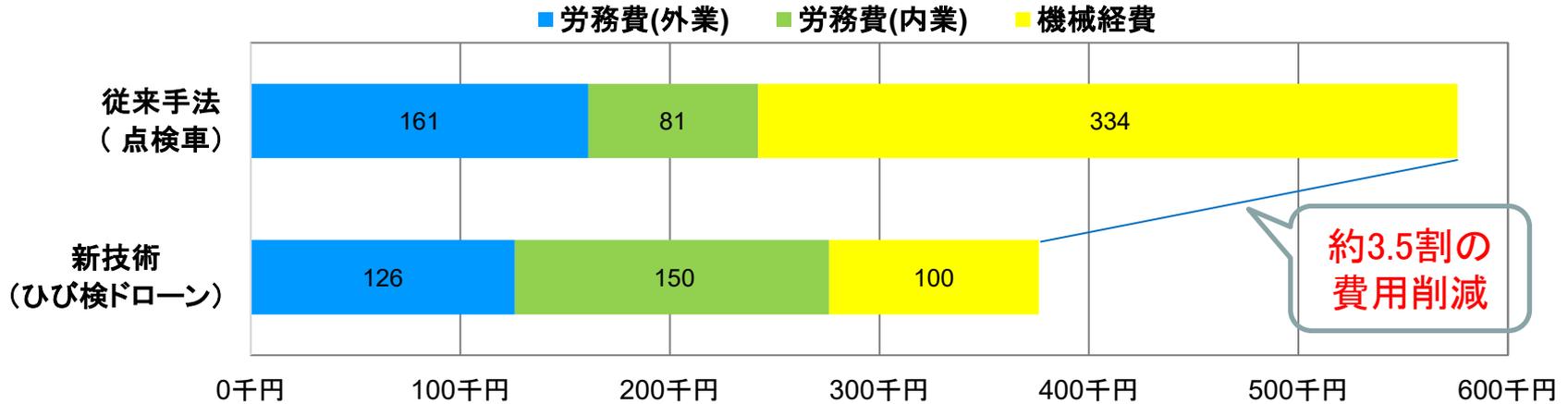
写真-3 解析画像

写真-4 解析画像拡大

コスト比較

比較条件：P18の点検と比較。

評価：従来技術と比べ、機械経費のコストダウンに寄与。



項目	従来技術	点検支援技術
外業	点検車による画像撮影	ドローンによる画像撮影
内業	撮影データの確認 ひびわれ図作成	測定データの解析
比較対象	点検車	ドローン ひび検
合計金額	576千円	376千円
工程	0.5日	0.5日

○諸条件

- 点検箇所：1基
- 天候：晴れ
- 対象部位・部材：P18
- 進入路：有り
- 点検時間：9:00～12:00
- たたき落とし作業：無し
- 積算：業者見積もり
- 前回の健全度：Ⅱ判定